



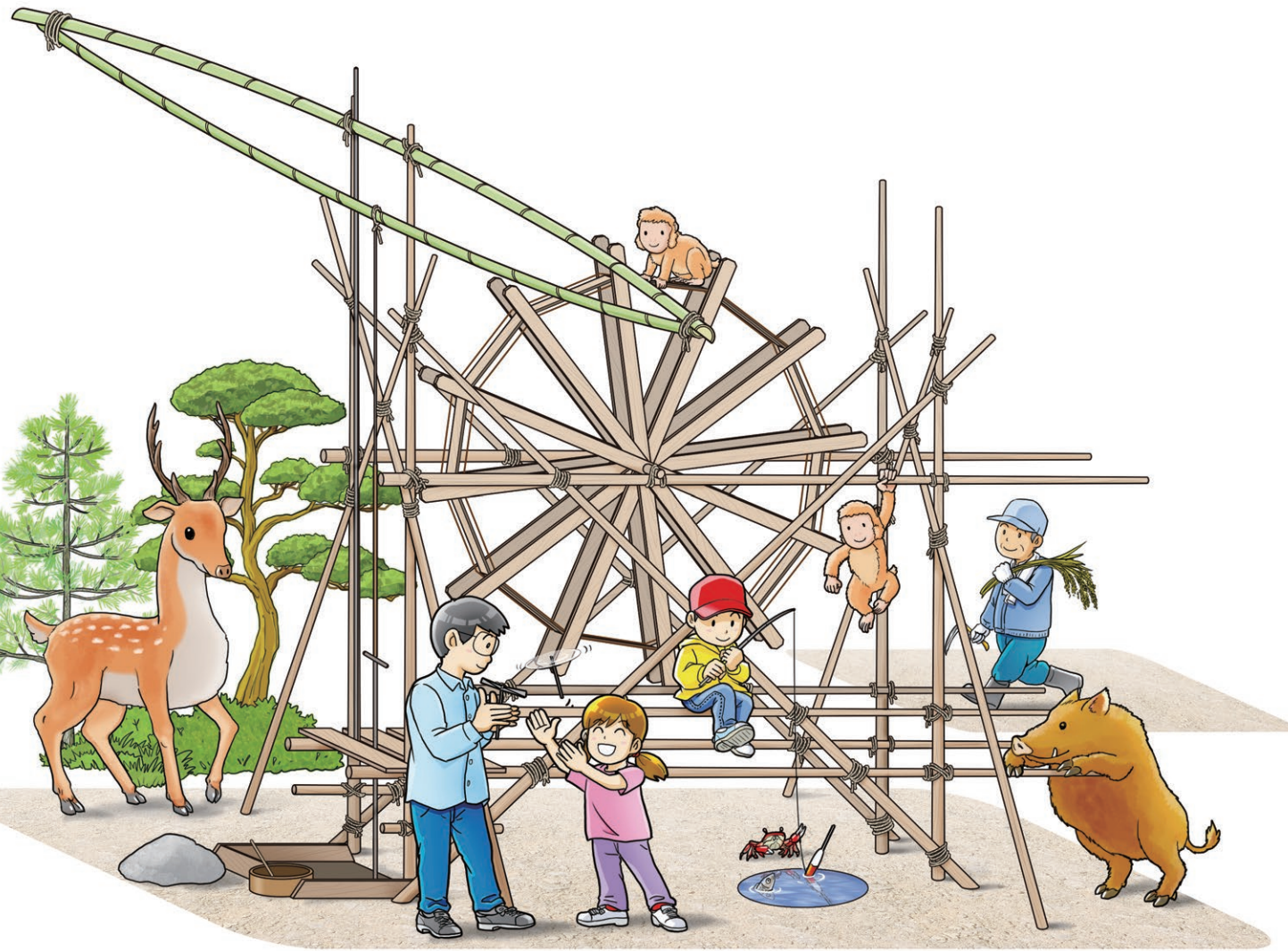
きみペディア
～つながる山・川・海・人 探究百科～

きみペディア
～つながる山・川・海・人 探究百科～
きみつ学

きみつ学

きみつ学

君津市教育委員会 令和七（二〇二五）年



はっこうしゃ
発行者

君津市教育委員会
君津市教育センター

はっこうび
発行日

第1版 令和7（2025）年3月31日
第2版 令和7（2025）年11月1日

君津市HP



デジタル版
『きみペディア』

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

OPRI 海洋政策研究所
SASAKAWA PEACE FOUNDATION

ほんふくどくほん にっぽんざいだんおよ ささかわへい わ ざいだん かいようきょういく じょせい う せいさく
本副読本は日本財団及び笹川平和財団の海洋教育パイオニアスクールプログラムの助成を受け制作しました。

目次

序章 きみつから世界へ

君津市教育センターメッセージ／君津市民の歌	4
探究百科きみペディア『きみつ学』の使い方／SDGsについて	5
空から見た君津の山・川・海・まち	6

第1章 きみつが歩んだ歴史 7

君津の大地の成り立ち	8
太古の君津にいた生き物たち	10
君津で見られる地層	12
君津市、千葉県の 縄文時代ってどんな様子？	14
君津でも稲作が始まった弥生時代	16
巨大なお墓ができた古墳時代	17
奈良時代～平安時代	18
鎌倉時代～戦国時代	19
江戸時代	20
明治・大正・昭和前期	22
君津の工業化（昭和時代後期～）	24



第2章 豊かな山 25

君津の森の昔と今	26
森の分布と役割	28
君津の山	30
君津の山に伝わる伝説・民話・歴史	32
君津の山にいる生き物	34
君津が誇る木材活用①	36
君津が誇る木材活用②	38
林業の今・里山保全	40
君津の山でつながる命	42
東京大学千葉演習林	44
森林に関わる小学校の取り組み	46
わたしたちにできるSDGs 山編	48



第3章 川のはたらき 49

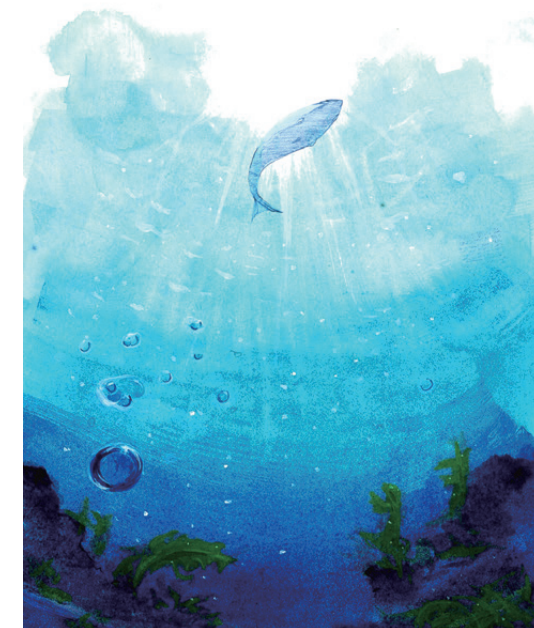
川の生き物の昔と今	50
川の生き物調査	52
川を活かした人々の営み	54
ダムや堰の役割	56
小学校の取り組みと豊かな川	58
わたしたちにできるSDGs 川編	60

第4章 まち・里に生きる
わたしたち 61

君津の米作りと用水	62
地下水と上総掘り	64
上総掘りから生まれた地下からの恵み ～酒・養殖・温泉・天然ガス～	66
君津市の農業の課題	68
里山の生き物・フードロス	70
地域行事 ～農業編～	72
農作物を使った特色ある学校の取り組み	74
わたしたちにできるSDGs まち編	76

第5章 わたしたちの海 77

海の昔と今の変化	78
東京湾の干潟を利用した漁業	80
海の活動いろいろ	82
盤洲干潟の生き物	84
水産資源の今	90
ブルーカーボン	92
君津の海での取り組み	94
県外での取り組み	95
海洋プラスチック	96
持続可能な豊かな海へ	98
海に関わる仕事や進路	100
世界とのつながりで地球環境を守る	102
新しいアイディアで未来へチャレンジ	104



学びのヒント	106
『きみペディア』活用アイディア	108

君津市教育センター メッセージ

私たちが今住んでいる君津市は、先人の努力の上に築かれてきたまちです。千葉県の「上総ノリ」の養殖をスタートさせたのは君津の人々です。上総掘りの技術は小櫃・小糸地域から“The Kazusa System”として発展途上国に広まり、水不足に苦しむ人々を助けてきました。

江戸時代の武士の内職として始まったとされる楊枝づくりは、良い香りのクモジの木を使った自然の歯ブラシとして、山で作られた良質な木炭は燃料として、東京湾をわたり江戸（東京）の人々の生活を支えました。

上総唐箕や久留里鎌は君津が生み、当時、全国に広まった農業の発明品です。

時は流れ、昭和時代には、海沿いの地域は漁業のまちから鉄のまちへと大きく変化をとげます。世界最大級の製鉄会社が君津のまちを大きく発展させました。ここで作られる良質な鉄鋼は、世界に誇る日本車の生産に貢献しています。

豊かな地下水で育てるカラーの花は、日本一の生産量を誇ります。おいしいお酒がつかれるのも、きれいな名水があってこそ。さらに、君津の山からの栄養を川が運び、東京湾の生き物を育みます。

どれをとってみても、山・川・海・人それぞれがつながりあっていたからこそ、生まれてきたものではないでしょうか。

インターネットで様々な情報が手に入るようになりました。しかし、それだけで満足することなく、自分の五感をめいっぱい使って、驚きや感動とともに学んでください。

このきみペディア『きみつ学』は、ただのきっかけにすぎません。ここで知ったことをもとに、さらに自分で調べたり、体験したり、友達と意見をぶつけ合ったりして、探究心を持って学び続けていってくれることを期待しています。君津市民のみならず、世界中の誰もが幸せに暮らせる未来とはどんな未来でしょうか。この答えのない問いに、みなさんの力を合わせて挑んでみてください。探究へのとびらは、今ここに、開かれています。



ドローン×きみつ

君津市民の歌

昭和51（1976）年9月1日制定
作詞：森菊蔵氏 作曲・編曲：伯林正一氏

1 君津の まちに 日が昇り
早蕨萌える 谷がある
さくら 並木の 鹿野山
ながれは小糸 小櫃川
ああ わがまちは 君津市は
水と みどりの 若いまち

2 君津の まちに 風薫り
白鳥あそぶ湖がある
古い歴史の 周准・望陀
おもかげ のこす 城がある
ああ わがまちは 君津市は
平和 たたえて 生きるまち

3 君津の まちに たくましく
あしたへ伸びる 夢がある
夜空 かがやく 鉄の火に
世界をめざす 意気がある
ああ わがまちは 君津市は
こころ ひとつに すすむまち

（歌詞の補足）
・周准・望陀：小糸川流域・小櫃川流域の地名で、明治30（1897）年まで使われていました。P18 →
・鉄の火：八幡製鉄所（現在の日本製鉄株式会社東日本製鉄所）の進出の話が持ち上がり、君津漁業協同組合と坂田漁業協同組合の人々は、郷土の新たな発展と子孫の繁栄を願い、漁業権譲渡を決定しました。そこから君津は漁業から製鉄のまちへと大きく転換することとなりました。P24 →

君津市公式
君津市民の歌 楽譜

君津市公式
君津市民の歌 動画

探究百科きみペディア『きみつ学』の使い方

本書はみなさんの学習や探究をアシストする「百科全書」的な本です。教科書とは違って、前から順に読み進めるものではありません。みなさんが今取り組んでいる、またはこれから取り組もうとしている学習や探究について、自分の必要だと思う内容・ページにアクセスしてみてください。きっと新たな気づきが得られたり、別の内容とつなげて学びを広めたりすることができるはずです。

年表

そのページであついている時代の、およその位置が確認できます。

国語 教科アイコン

教科の学習とつながりがある内容です。それぞれの学習を、さまざまな角度から見てみましょう。
※理科・社会科はほとんどの内容につながるため、のぞいてあります。

リンク

関連する内容のページです。ぜひ見てみましょう
山・川・海・人をつなげて考えるヒントになります。

探究のタネ

自分で探究的に学びを深めるためのヒント（タネ）です。「不思議だと思ったこと」「興味があること」などを見つけたら、進んで調べて、まとめてみてください。ICTをうまく使うことは大事ですが、それだけに頼らず、実際に体を動かしたり、インタビューしたりする、生の体験を大事にしてください。まとめたことを誰かに伝えられたらいいですね。

英単語

君津市のことを英語で紹介するときに使えそうな単語を集めました。

ほかにも…

チャレンジ

実際の取り組みや体験できることを紹介しています。

ジレンマ

対立する意見がある問題です。

ヒミツ

意外な発見などを紹介しています。

ワールド

世界に目を向け、視野を広げてみましょう。

SDGsについて

各ページの内容に関連するSDGsのアイコンを丁寧に付けている本がよくありますが、この本ではあえてつけていません。それは、皆さん自身で、どの目標が関連しているのか考えてもらいたいからです。見方・考え方によって、正しい解は1つではありません。また、SDGsの目標同士はそれぞれがつながりあっているもので、いくつも当てはまることもあります。

「これって～番と～番の目標につながるのではないかな。」「そういう考えもあるんだね。私はそれとは違ってこう考えたよ。理由はね、…」そんな学び合いが生まれることを期待しています。



空から見た君津の山・川・海・まち

第1章

きみつが歩んだ歴史

※デジタル版では左の図からリンク先にジャンプすることができます。

第1章 歴史 …… P.07

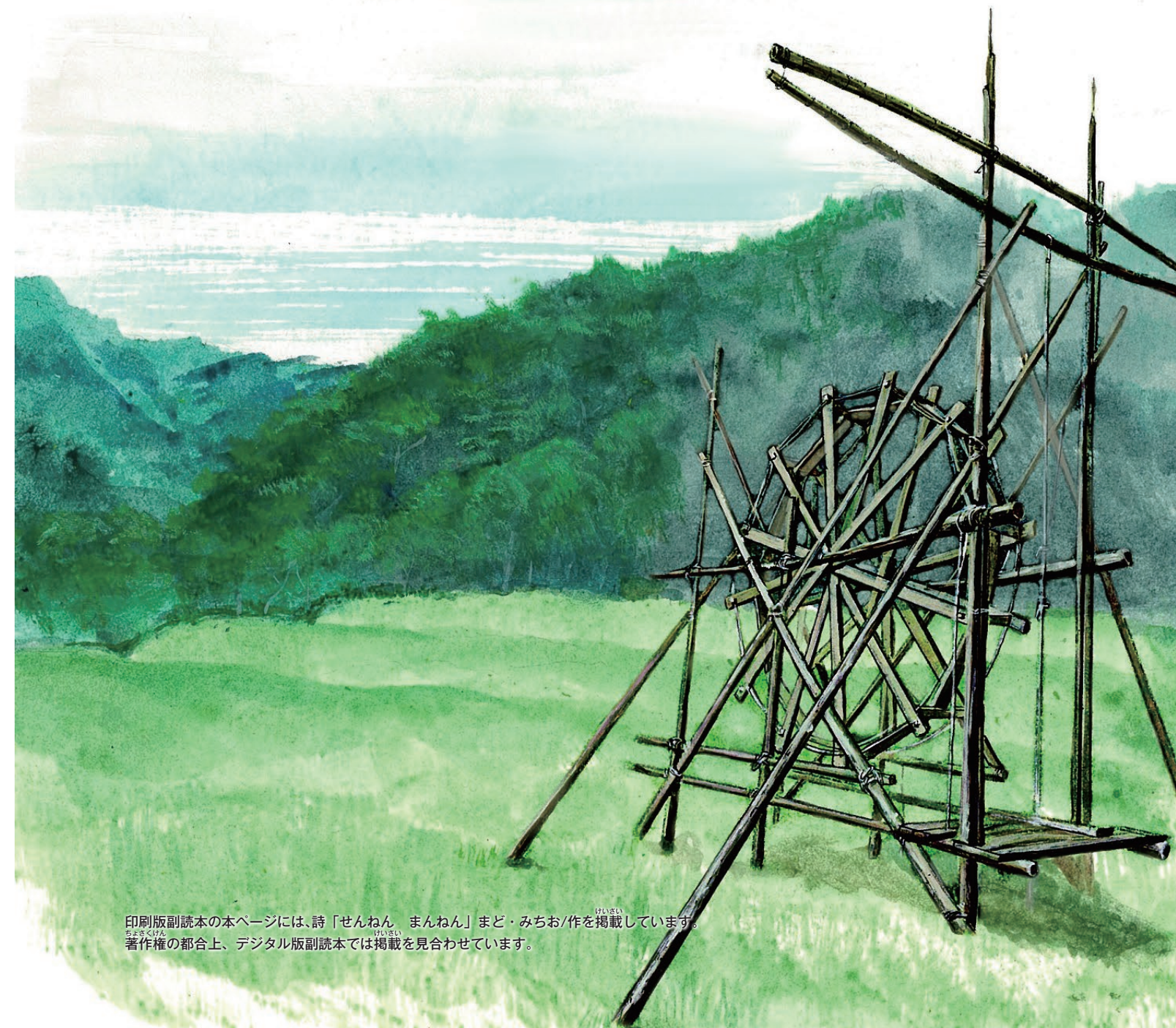
第2章 山 …… P.25

第3章 川 …… P.49

第4章 まち・里 …… P.61

第5章 海 …… P.77

※デジタル版では各ゾーンのくわしい地図や「眺望マーク」から景色の写真を見ることができます。



印刷版副読本の本ページには、詩「せんねん まんねん」まど・みちお/作を掲載しています。
著作権の都合上、デジタル版副読本では掲載を見合わせています。